



祈願祭であいさつを述べる末松市長

— 南消防署三角分署新築工事安全祈願祭が開催 —

三角地域の防災の拠点として

8/23 宇城広域連合南消防署三角分署の新築工事の安全祈願祭が三角防災拠点センター隣の建設予定地で行われました。連合長の末松市長は「三角町の防災拠点として整備し、地域防災力の向上につなげたい」と話しました。庁舎は延べ床面積525.26平方メートルの鉄筋コンクリート造で、令和8年3月完成予定です。



全国大会出場を報告した消防隊員の皆さん

— 宇城消防本部消防隊員が全国大会出場を報告 —

日頃の訓練の成果を全国で発揮

8/22 宇城広域連合消防本部に所属する消防隊員5人が九州代表として、全国消防救助技術大会の「引揚救助の部」へ出場することを末松市長に報告。引揚救助は、地下などでの災害を想定した訓練で、5人1組で実施します。チームをけん引する迫田恵哉消防士長は「全国1番を目指して頑張ります」と意気込みを語りました。



講師の掛け声に合わせて、ヨガを楽しむ参加者たち

— ファミリーサポートセンター全体交流会を開催 —

ヨガを通して会員同士が交流

8/5 市こどもセンターで開催され、10人が参加。これは、同センターの会員同士の交流を深めることを目的に毎年行っています。今回は、「ヨガで心もカラダもほぐしましょう」をテーマに実施。参加者からは「子どもとヨガができ、とても楽しかった」、「先生の優しい雰囲気が心地良かった」などの感想が聞かれました。



高齢者叙勲を受章した宮崎さん(写真右)

— 旭日単光章を受章した宮崎さんへ叙勲を伝達 —

幅広い分野で住民のために貢献

7/28 高齢者叙勲を受章した宮崎恭一^{きょういち}さんへ市役所で叙勲伝達式を行いました。高齢者叙勲は、春秋叙勲を受章していない功労者のうち、88歳になった人を対象に授与されるもの。宮崎さんは、旧松橋町議会議員として3期12年在職し、生活環境の整備や住民福祉の向上など幅広い分野において貢献されました。



観客に自分の思いを訴える松本さん

— 少年の主張熊本県大会で優秀賞を受賞 —

一人ひとりの心に響く思いを伝える

8/30 熊本城ホールで「少年の主張」熊本県大会が開催され、松橋中3年の松本あずささんが宇城地区代表として出場し、優秀賞を受賞しました。松本さんは、いじめにあった自身の経験を取り上げ、「傷ついている人がいたら声を掛けてほしい。その一言で心が楽になり、強くなれる人がある」と聴衆へ向け思いを伝えました。



研究活動の成果を報告した宇土高校科学部地学班の皆さん

— 不知火現象研究活動の成果を市長へ伝える —

不知火現象を追い続けた生徒たち

8/27 全国高校総合文化祭で文化庁長官賞を受賞した宇土高校科学部地学班が、不知火現象の研究結果を末松市長に報告。生徒たちは、36年ぶりに不知火現象の観測に成功したことやその発生原因について、資料や映像を使って丁寧に説明しました。3年の米田直人^{なおと}さんは「報告は、とても貴重な経験でした」と話しました。



オリジナルのちょうちんも夜市に彩りを加えた

— 昨年から始まったまっちゃ夜市が今年も開催 —

地域を盛り上げる夏の夜市

8/16 不知火町松合地区で「まっちゃ夜市2025」が行われ、多くの人でにぎわいました。通りには、屋台やキッチンカーが立ち並び、不知火竜燈太鼓保存会の演奏や音楽ライブ、そうめん流しなどが行われました。来場した人々からは「去年の夜市よりも多くの人でにぎわってうれしい」などの声が聞かれました。



テープカットを行う参加者たち

— 松橋中学校新校舎落成式 —

生徒たちの新たな学び舎が完成

8/8 松橋中の新校舎落成式を開催し、学校関係者や生徒など約90人が出席しました。新校舎は、鉄筋コンクリート造の一部4階建て。ICT対応設備やバリアフリーなどを有し、機能性と安全性に配慮した造りとなっています。村上昌史^{まさし}校長は「生徒たちには、後の世代のためにも大切に使ってほしい」と語っていました。